

ICT社会の発展を 価値ある「サービス」と「人」で支える

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆さまへ



株主の皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

この半年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、企業収益、雇用・所得、個人消費などが悪化し、先行き不透明な状況が続きました。当社が属する情報サービス業界では、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）などの需要に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機にテレワーク環境の整備・強化に向けた需要が増加する一方で、今後も景気動向が厳しい見通しとなることから、お客様企業のIT投資全般は抑制傾向になっております。

こうした状況の中、当社ではテレワーク対応やWeb会議などの活用により、お客様との綿密なコミュニケーションを図り、新規案件や既存案件の追加受注に注力した結果、売上は前年同期比で増収となりました。しかしながら、利益面は顧客のシステム投資計画の延期などにより技術者の稼働率が伸び悩み、減益となりました。引き続き、顧客動向を迅速に把握するとともに、継続的な提案活動を実践することで業績の確保に努めてまいります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

田中 博

OUR VISION AISビジョン

創業の精神



約束はきちっと果たす
決して迷惑はかけない
礼儀を重んじ
感謝の心を失わず
謙虚で素直に周囲の言葉を受けとめる

◀ 社是

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。



Q1 新型コロナウイルス感染症の影響と中間期の業績についてお聞かせください。

A1 第1四半期が終わった6月末時点までは、新型コロナウイルス感染症の当社の業績への影響はまだ限定的なものでした。ただ、社会経済活動への影響が長引くと考えられてからは、一部のプロジェクトが先送りになるなど、お客様からの業務の絞り込みも見られています。これまでのところ売上への影響は最小限で留まっていますが、4月に入社した新入社員の配置に遅れが出るなど、社員の稼働率が伸び悩んでいることに伴い、営業利益は縮小するに至りました。

事業別に見ると、これまで業績をリードしてきたネットワークサービス部門が売上を伸ばしていますが、システム開発部門も売上を伸ばしています。テレワークの環境整備に加え、お客様の業務系アプリケーションの需要は着実に膨らんでいます。

Q2 ビジネス環境の変化にどのように対処されてきましたか？

A2 新型コロナウイルス感染症の拡大により、お客様も当社社員も、かなりの割合で業務をテレワークにシフトしました。テレワークの採用により既存の業務の流れが変化することで、多くのお客様で新たな課題が生じております。また、通常なら当社社員の多くがお客様のオフィスで働くわけですが、テレワークの広がりでお客からは私どもの仕事ぶりや成果が見えにくい状況も生まれています。そこで当社社員にテレワークに関するアンケートなどを実施し、チームで工夫したことや改善例などを共有することで、お客様の業務の改善に取り組んでいるところです。また、従来はチームでやってきた業務が、個別のテレワークとなったため、社内の結束がこれまで以上に大切になっています。本年は、4月に入社した新人への研修もテレワークが中心でしたが、従来の集合研修で培われる創業の精神を始めとしたAISビジョンが十分に浸透するよう、若手へのサポート・育成にも注力してまいりました。

Q3 菅新政権はデジタル庁の新設を表明し、今後業界に追い風が吹きそうですね？

A3 わが国はIT化や携帯電話で先行したものの、ビジネスへの普及と活用にまだまだ問題があります。いま、DX（デジタルトランスフォーメーション）と呼ばれる「デジタル化による事業構造の変革」が急がれており、激しい競争を勝ち抜くカギは“デジタル化”にあることは間違いありません。

ただ、私たちの業界では、目前に迫る「2025年の崖」への対応も待たなしの状況です。20年以上稼働した既存システムは、つぎはぎで構築してきたものが老朽化してきていることに加え、担当した技術者の定年などでブラックボックス化し、システムの刷新・再構築が大きな課題となっています。このため安定的かつ効率的なシステムを作り上げる人材の確保と育成も当面の重要課題となっています。

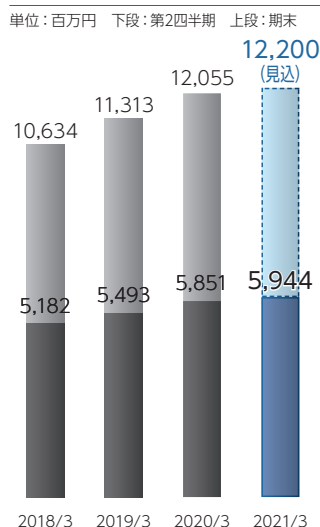
Q4 情報サービス業界で勝ち残るための方策について、あらためて社長の抱負をお聞かせください。

A4 勝ち残るには、強みをさらに伸ばす必要があります。具体的な方針は3つあります。1つめは技術力の向上です。セキュリティやRPAなど常に新しい技術にチャレンジしていかなければなりません。2つめはチーム力の底上げです。高水準のITサービスを安定してお届けするには、チームとしての連携が欠かせません。3つめは継続した改善提案です。お客様は役に立つ提案を求めておられるので、現場目線の提案を継続してまいります。

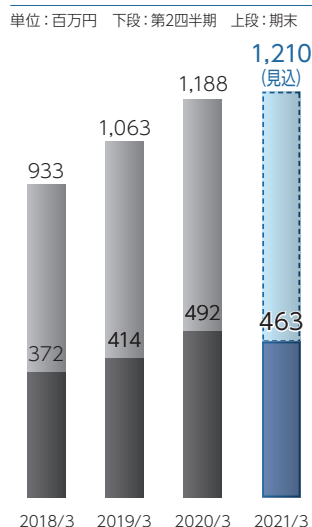
さて、当社は3年ごとに策定する中期計画を全社の共通目標としてきました。初年度にあたる2020年3月期の実績値は、売上高12,055百万円（増加率6.6%）、営業利益1,178百万円（増加率11.8%）、営業利益率9.8%（0.5ポイント増）となり、3カ年計画の目標値に迫るものでした。2年目となる本年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり予断を許しません。ただ、2008年に経験したリーマンショック時と比較しますと、現時点でその影響は限定的に留まっていると考えています。

FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績の推移

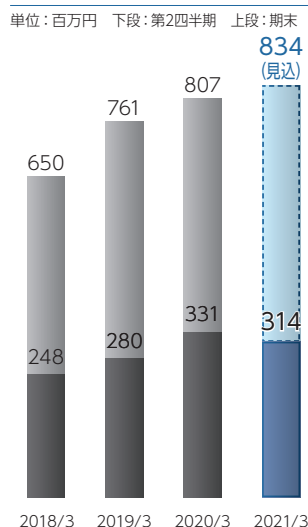
売上高



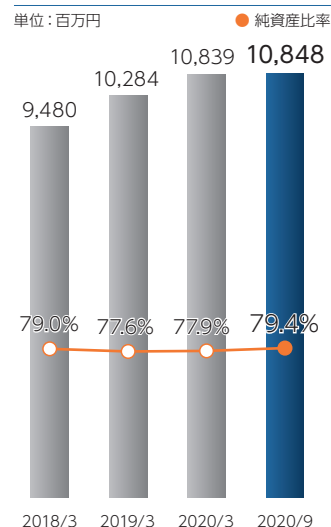
経常利益



四半期(当期)純利益



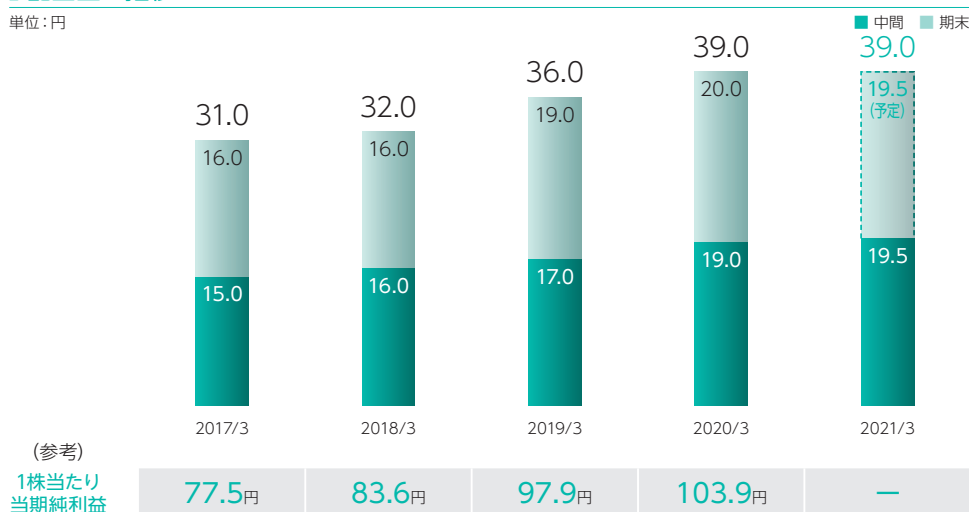
総資産 / 純資産比率



DIVIDEND 配当金

配当金の推移

単位：円



CORPORATE DATA 会社概要

2020年9月30日現在

会社概要

商号	旭情報サービス株式会社 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO.,LTD.
設立	1962年8月7日
資本金	7億3,336万円
従業員数	1,647名
主な事業内容	当社は、ネットワークシステムの構築、運用管理をはじめヘルプデスクや障害対応などのサポート業務、およびソフトウェアの設計・開発業務を主力とするほか、汎用系システムの保守・運用管理などの情報処理サービスを行っております。

役員

代表取締役社長	田中 博
常務取締役	濱田 広徳
取締役	宮下 勇人
取締役	水野 伸一
取締役	高橋 章近
取締役(社外)	岩田 守弘
取締役(社外)	菱山 玲子
常勤監査役	上関 孝昭
監査役(社外)	三浦 州夫
監査役(社外)	清水万里夫
監査役(社外)	久保 英資

■ 株式の状況

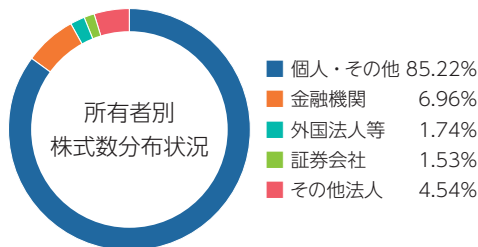
発行可能株式総数	20,729,000株
発行済株式の総数	8,264,850株
株主数	3,528名

■ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
旭情報サービス社員持株会	1,059,534	13.63
大槻幸子	420,520	5.41
三井住友信託銀行株式会社	374,000	4.81
光通信株式会社	303,600	3.91
大槻武史	168,752	2.17
日本生命保険相互会社	157,020	2.02
大槻剛康	150,383	1.93
大槻幸史	136,200	1.75
小野一夫	110,000	1.42
大槻広子	97,900	1.26

(注)上記のほか、当社所有の自己株式が492,367株あります。

■ 株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.aiskk.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座をお持ちの株主様 → お取引の証券会社にお問合せください
- 証券会社に口座をお持ちでない株主様 → 左記電話照会先にお問合せください
- 特別口座の株主様 (株券電子化以前に「ほふり」を利用されていなかった株主様) → 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝し、毎年、年1回の株主優待を実施しております。

- 贈呈基準** 毎年3月31日現在で、**1,000株**以上お持ちの株主様
- 優待内容** 「カタログギフト」**5,000円コース**
地球環境や社会貢献に配慮したモノやサービスを多数掲載。ご希望商品1点をお選びいただけます。



旭情報サービス株式会社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F
<http://www.aiskk.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。